

多発しています！ 事故が多発しています！



事故が多発しています！ 事故が多発しています！



雪下ろしを安全に行うための

命綱 屋根雪下ろし 固定アンカー

活用ガイドブック

命綱固定アンカーとは
命綱の一端を固定するために、屋根などに固定された金具





はじめに

長岡市は全国でも有数の豪雪地帯であり、大きな危険が伴う屋根雪下ろしは生活に必要不可欠な作業です。毎年複数回必要になる地域もあることから、屋根雪下ろしに起因した事故が多発しています。

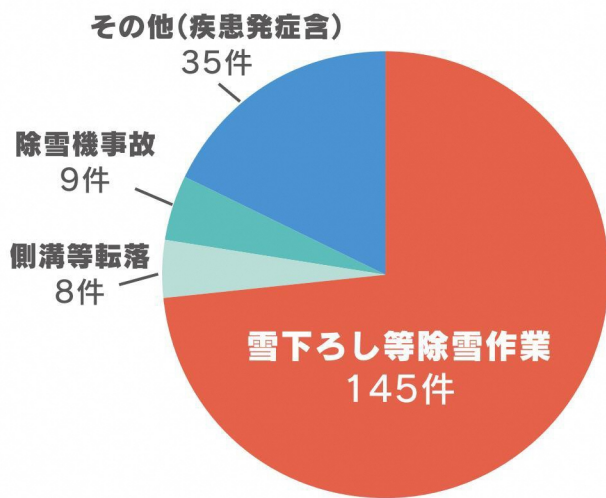
本ガイドブックは安全な屋根雪下ろしの方法や、必要な器具についてまとめたものです。

大切なお住いを守り、住み続けるためにも安全な作業をお願いします。

⚠️ 市内では毎年雪下ろし中の事故が多発しています

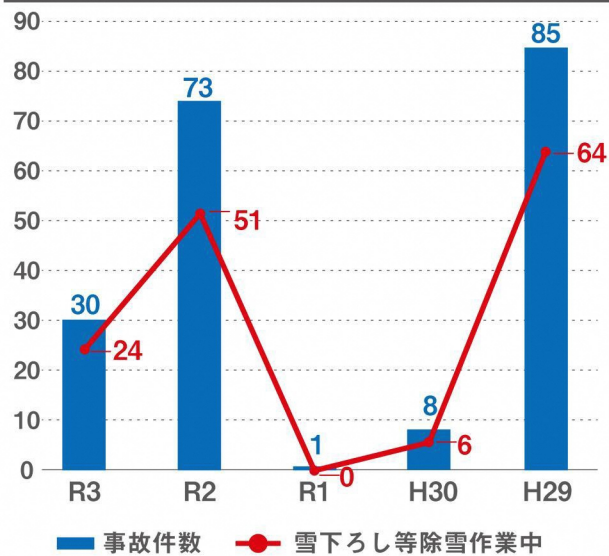
長岡市では、過去5年間雪による事故が197件発生し、そのうち雪下ろしなどの除雪作業中の事故が145件(73.6%)となっています。

過去5年間の長岡市の雪による事故の割合



雪下ろし等除雪作業中の事故のうち、屋根やハシゴからの転落は96件(66.2%)

過去5年間の事故件数の推移



(長岡市危機管理防災本部調べ)

⚠️ 事故を防ぐための命綱はほとんど使われていません

屋根雪下ろしは、高所作業であり、**転落防止のための命綱の装着は必須**です。

しかし、令和3年度に新潟県が実施した「県民アンケート調査」では、「命綱を着用した」と回答した割合は、わずか6.1%でした。



命綱固定アンカーとは


「命綱固定アンカー」とは、命綱の一端を固定するために、住宅の屋根などに堅固に固定された金具のことをいいます。

命綱の一端を固定するやり方は、樹木、地上の固定物など様々な方法があります。このような方法には、特殊な技能が必要であることや手間がかかることから、費用が高くなったり、必要な時に屋根雪下ろしを依頼できなかつたりすることがあります。

そのため、安全確保が容易な専用のアンカーを屋根にあらかじめ設置することは、依頼主や業者の安心につながります。

アンカーを設置するメリット

- 屋根雪下ろし作業をする時に安心感がある。
- 転落の危険性がほとんどなくなる
- 雪下ろし作業に専念できる
- 屋根雪下ろしは「高所作業」にあたるため、アンカーがあると業者が除雪作業を請け負いやすい。



アンカーの設置

アンカーは各工務店などが創意工夫して設置しているため、様々な種類があります。屋根の形状や、それぞれのメリット、デメリットを検討して、工務店などと相談して決めてください。

■ アングル型アンカー

- 目立たない
- × 雪に埋まり見つけにくい



■ 屋根馬単管型アンカー

- 雪に埋まりにくい
- × 振れ止めの補強が必要



■ 腕金ワイヤー型アンカー

- 屋根の葺き替え不要
- × 腕金の製作が必要



■ 転落防止柵

- 雪庇防止を兼ねる
- × 工事費が高くなる





安全な屋根雪下ろしをするために

安全な雪下ろしをするための装備を揃えましょう



用具	主な販売店	購入費用の例
ヘルメット (帽子)	ホームセンター など	4,000円程度
手袋		
防寒具		
長靴		
安全帯 (墜落制止用器具)		8,000円程度 フルハーネス 20,000円程度
はしご		通常: 30,000円~ アウトリガー式 200,000円程度
カラビナ	ホームセンター 登山用品店 など	1,000円~ 2,000円程度
命綱	登山用品店 など	登山用ザイル (φ8mm /5m) 1,500円程度
ブレーキ (必要に応じて)		4,000円程度



命綱は適切に使用しましょう

命綱は、安全带、ロープ、アンカーと組み合わせて使用することで効果を発揮します。



安全带

身体に命綱を直接結び付けると、万一転落した際に、衝撃で命綱を結んだ部分で骨折したり内臓や神経を傷めたりするおそれがあり危険です。

そのため、安全带(墜落制止用器具)を身体に装着し、安全带に命綱を繋ぐことが有効です。安全带には転落時の衝撃を吸収するショックアブソーバーが付いており、転落時に身体にかかる負担を軽減してくれます。

命綱

登山用ザイル(直径8mm以上)など、強度があって滑りにくく結び目がほどけにくいものを選んでください。

命綱は、屋根から身体がはみ出さない長さ(通常は5m程度)があれば十分です。命綱が長すぎると、滑った際に制止までの距離が長くなる(加速する)だけでなく、首などに巻き付くおそれがあり危険です。

アンカー

命綱を建物に繋ぐための設備です。アンカーを事前に屋根上に設置することで、雪下ろし作業中の安全を確保することができます。

また、高所作業に置ける安全確保ができないと業者が作業を請け負うことができない場合があります。



安全な屋根雪下ろしをするために

⚠️「危険ゾーン」での作業を避けましょう

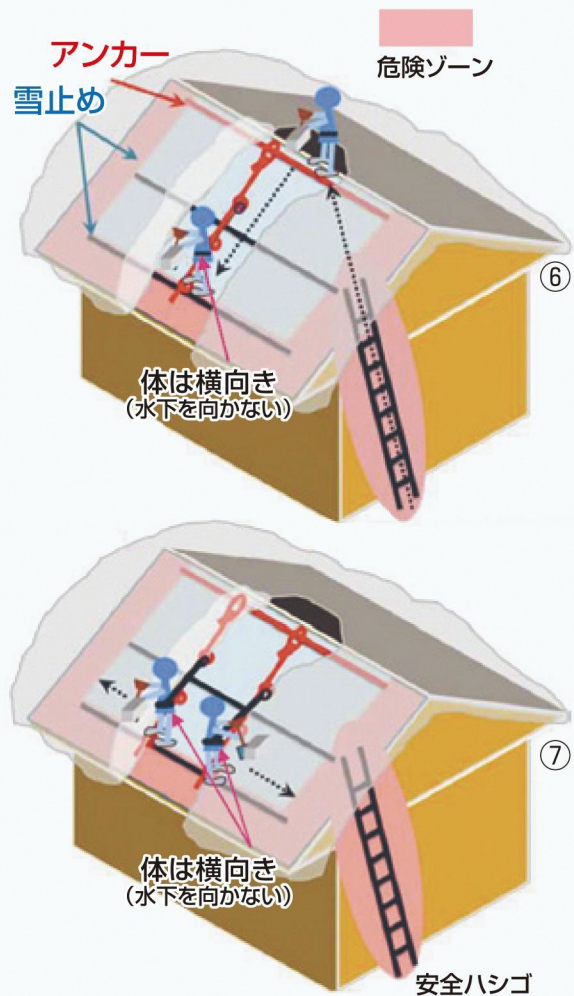
屋根の端部は、バランスを崩すと転落につながる「危険ゾーン」です。
また、ハシゴからの転落も多数発生しており、ハシゴも「危険ゾーン」です。
「危険ゾーン」での作業はやめましょう。



参考

安全な雪下ろしの作業順序

- ① 可動式ハシゴを使用する場合は、ハシゴの脚を雪に埋めて踏み固め、動かないようにする
- ② 雪下ろしに使用する道具は手に持たず、道具にロープを結び、もう一方のロープの端はカラビナ等で安全帯を繋ぐ
- ③ 屋根に上ってからロープで道具を引き上げる
- ④ 棟の中央部に向かい、(雪に埋まっている場合は掘り出して)アンカーに命綱(ロープ)を結ぶ
- ⑤ 体が屋根の端からはみ出さないように、命綱の長さを調整する【重要】 **命綱ヨシ!**
- ⑥ 屋根の中央部を下方に向かって軒先まで掘り進み、軒先の位置を確認
- ⑦ 道具(ダンプ)を雪に差し入れ、下方に滑らせて雪を落とす
体を横向きにして屋根と平行に掘り進む
- ⑧ 屋根端部の雪は、安全ゾーンから危険ゾーンに道具を差し出して落とす(妻側の屋根端部の雪を最後に落とす)



(出典:新潟県「屋根雪下ろし命綱固定アンカーガイドブック(第三版)」)

ポイント

- きれいに雪を除くと、屋根葺材を傷めたり、足元が滑りやすくなります。
屋根には、15~20cmの雪を残しましょう。
- 「危険ゾーンに立たない」「危険ゾーンの雪は、安全ゾーンから道具を差し出して落とす」ことが安全な雪下ろしの基本です。



参考

有償ブースター「YUBO」

- ボランティアを広く募り、地域内の除雪チーム(共助組織)の人手が足りないとき有償ボランティアを派遣します。

従来のボランティアは実施1か月前に告知する計画派遣が中心ですが、YUBOでは降雪状況に合わせ必要な時に必要な人数を告知、募集するため、柔軟な対応が可能です。



地域内の除雪チームと一緒に作業を行います。(その日募集した地域の要望によって作業内容は決定します。)

ボランティア育成講座「越後雪かき道場®」で作業の注意点やコツを学ぶことが出来るので初心者でも安心です。



参考

越後雪かき道場®

- 除雪作業の安全教育や技能向上を目指す実践講習会の運営や、除雪技術を多くの人に伝えるためのテキストを作成しています。

実践講習会の様子



写真提供:越後雪かき道場®

テキスト

「雪かき道越後流指南書」





命綱固定アンカーを設置した人の声を紹介します



長岡市屋根雪下ろし命綱固定アンカー設置補助金を使って、命綱固定アンカーを設置した方のコメントです。(設置者のアンケートより)

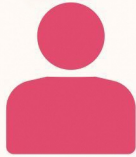
高齢になり、
屋根に上がること
不安を感じる



雪下ろしを一緒にする人が
いないので、**単独の作業**
になってしまう



危険な作業が
安心に変わる



アンカーを設置したので、
業者から**安全**に
雪下ろしをしてもらえる



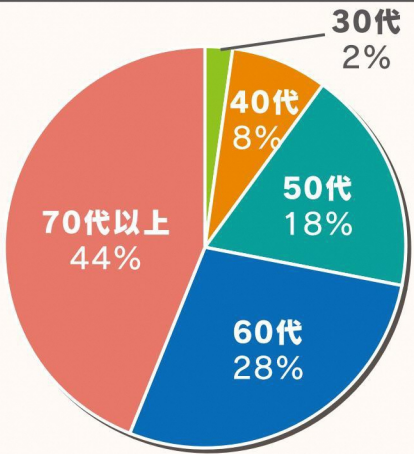
安全な雪下ろしの
方法について
学ぶ機会が
あるとよい



知り合いにも
設置するよう
紹介したい



申請者年代別(%)



発行 **長岡市都市整備部都市政策課**

〒940-0062
長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト

TEL: **0258-39-2265**
E-mail: toshisei@city.nagaoka.lg.jp

長岡市 アンカー 検索

